

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 6 月 4 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (6/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h	32.4	106.9 kPa abs	A系:0.04 vol% B系:0.08 vol%
		給水系：約 3.4 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 6.0 m ³ /h	46.4	14.45 kPa g	A系:0.19 vol% B系:0.19 vol%
		給水系：約 2.8 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.0 m ³ /h	55.9	0.26 kPa g	A系:0.13 vol% B系:0.12 vol%
		給水系：約 2.8 m ³ /h			

* :絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (6/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.0
2号機	循環冷却システム	運転中	23.5
3号機	循環冷却システム	運転中	22.8
4号機	循環冷却システム	運転中	38

【4号機】・6/1 8:56 使用済燃料プール一次冷却系のポンプ吸込ストレーナ交換を実施するため、使用済燃料プールの冷却を停止(停止時使用済燃料プール水温度:約 31℃)。なお、停止期間は 6/3 までを予定しており、プール水温度の上昇率は約 0.3℃/h と評価していることから、プール水温度の管理に問題はない。

6/3 11:21 ストレーナの交換を実施後、当該ポンプを再起動し、使用済燃料プールの冷却を再開。(再開時プール水温度:約 47.4℃)。

・5/26 11:00 頃より、4号機使用済燃料プールスキマサージタンクの水位が上昇傾向にあることが確認されたため、使用済燃料貯蔵プールで運転中の塩分除去装置(モバイルRO装置)の状態を確認。その結果、入口側流量計の不調が確認されたため、同日 15:21 に同装置を停止。

6/4 10:20 流量計については、5/27、フラッシングを実施したことにより流量計の指示値が回復。また、スキマサージタンクの水位上昇については、原子炉ウエルの水位上昇によるものと推定。このため、塩分除去装置(モバイルRO装置)を再起動。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
1号機	1号機タービン建屋	→ 2号機タービン建屋	6/1 14:22 ~ 6/3 9:50 移送実施
2号機	2号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	5/27 14:34 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	6/3 10:15 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (6/4 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以上